

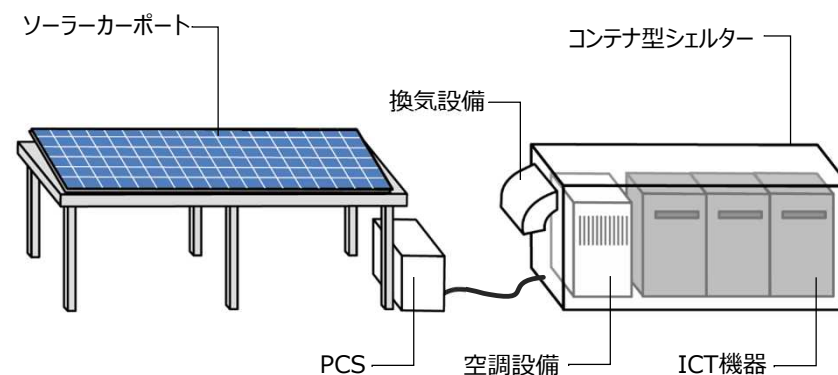
7.9 コンテナ型データセンター等導入支援事業

① 最新鋭のICT機器、太陽光発電設備を導入したコンテナ型データセンターの取組

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社フロントエンド
	業種	情報通信業
事業所	所在地	愛媛県
	総延床面積	—
補助金額	補助金額	—
	補助率	1/2
主な導入備	従前設備	—
	導入設備	コンテナ、ICT機器、空調、太陽光発電
事業期間	稼働日	2023年2月
区分		新設
特長		コンテナ型シェルターの中に高効率なICT機器、分電盤、空調機、除湿機、サーバラック等を設置しつつ、敷地内にソーラーカーポートを新設して太陽光発電設備（全量自家消費）を導入したデータセンターの脱炭素化の事業である。

システム図



写真



対象施設の外観
(コンテナ型データセンター)

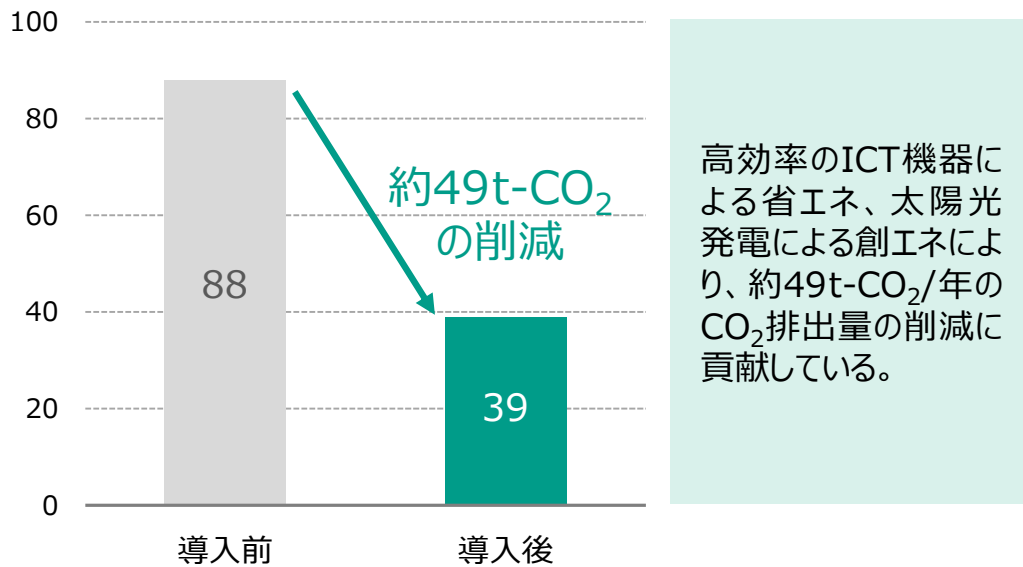
① 最新鋭のICT機器、太陽光発電設備を導入したコンテナ型データセンターの取組

事業の効果

エネルギーコスト削減額	新設のため非該当	
投資回収年数	補助あり	—
	補助なし	—

CO ₂ 削減量	約49t-CO ₂ /年
CO ₂ 削減コスト*1	111,247円/t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂/年)



*1 CO₂削減コスト：「補助額÷(CO₂削減効果×耐用年数)」によって算出。

① 最新鋭のICT機器、太陽光発電設備を導入したコンテナ型データセンターの取組

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 事業実施のきっかけ・経緯：

- ・ 従前から借りていたデータセンターが離れた場所に位置し、機器メンテナンスやトラブル等の際、移動に時間を要し、サービス品質の維持が課題となっていたため、近隣に自社データセンターを新たに構築することを考えていた。
- ・ 従来型のデータセンターを検討していたが、メンテナンス性やコストを考え、コンテナ型データセンターの導入を決断した。

■ 本事業における創意・工夫点、実現できたこと等：

- ・ 高効率で最新鋭のICT機器等を導入することで従来型に比べ約25%の省エネ効果（消費電力ベース）が実現できた。
- ・ ICT機器等の安定稼働のためには、コンテナ内の温度・湿度の管理が重要であるため、維持管理ではデータセンター環境監視システムを導入し、管理を行っている。
- ・ 再エネ電力を利用すべく、同敷地内にソーラーカーポートを新設して太陽光発電設備を導入（約15kW）し、発電電力量の全量をコンテナ型データセンターで賄うことで再エネ電力比率14%を達成している。



ソーラーカーポート



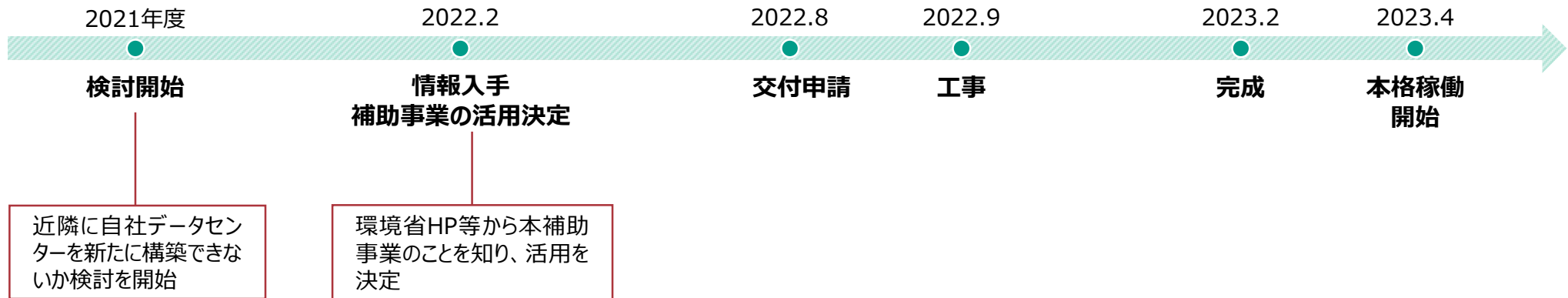
空調、換気設備（屋外部）



ICT機器（コンテナ内部）

① 最新鋭のICT機器、太陽光発電設備を導入したコンテナ型データセンターの取組

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



中野 航
株式会社フロントエンド 代表取締役

- 本事業を活用することで、サービス品質を維持しつつ保守にかかる負担を削減することが出来ただけでなく、CO₂排出量削減という環境に配慮した取り組みをすることができ、大変満足しています。
- 本事業を機に、環境に対する意識も更に向上したと感じています。